

令和元年度議会広報調査特別委員会管外行政視察報告書

- 1 視察日時 令和元年8月8日(木)～8月9日(金)
【1日目】菊川市議会
8月8日(水)午後1時～午後2時30分
【2日目】寄居町議会
8月9日(金)午前9時40分～午前11時10分
- 2 視察先 菊川市議会・寄居町議会
- 3 視察事項 ・議会だよりのリニューアル、編集・発行について
- 4 視察目的 「菊川市議会」
菊川市議会は、平成28年5月号から議会だより紙面をリニューアルしている。市民と議会のつながりを広げられるような特集ページとして、市民団体へのインタビュー記事を掲載しており、内容も、写真やイラストを多用し、文章はできるだけ少なくして、読みやすい紙面となっている。菊川市の議会だよりリニューアルの経緯と手法、特集ページのための各種団体へのアプローチ、編集方法などを学び、本市の議会だよりの一層の紙面充実を図ることを目的とする。
「寄居町議会」
寄居町議会の議会だより「お元気ですか、寄居議会です」は、平成29年度、平成30年度の2年連続で、町村議会広報全国コンクールで最優秀賞を受賞している。議会だよりには数多くの市民が登場し、町の重要施策に対する市民の様々な声が掲載されている。寄居町議会だよりの、動きのある読みたくなる紙面づくりのコツ、編集作業への議員の関わり方を学び、本市の議会だよりの一層の紙面充実を図ることを目的とする。
- 5 参加者 議会広報調査特別委員会(7名)
委員長 肥塚 康子
副委員長 和田 美奈
委員 堀 讓
委員 柏原 要
委員 松本 良三
委員 柳生 陽一
委員 畑山 剛一
《随員》
議会事務局副主幹 竹北 嘉子

6 視察先出席者

〔菊川市議会〕

菊川市議会 議長	松本 正幸
菊川市議会 議員	倉部 みつよ
菊川市議会事務局長	赤堀 剛司

〔寄居町議会〕

寄居町議会 副議長	田母神 節子
寄居町議会 議員	鈴木 詠子
寄居町議会 議員	中嶋 文雄
寄居町議会 議員	保泉 周平
寄居町議会 議員	権田 孝史
寄居町議会事務局次長	角田 真一

7 行政視察内容

【菊川市議会】

- (1) 菊川市議会 松本議長あいさつ
- (2) たつの市議会 肥塚議会広報調査特別委員会委員長あいさつ
- (3) 菊川市議会からの調査事項の説明概要

◎市議会だより「議会のひろば」の編集・リニューアルについて

- ① 発行回数 年4回（定例会終了後、翌々月中旬）
- ② 規 格 A4判 16ページ
- ③ 印刷色 フルカラー
- ④ 発行部数 1回につき15,000部
- ⑤ 経 費 令和元年度予算で、1,119千円を計上
(単価18,65円)
- ⑥ リニューアルの目的 菊川市議会では、4年ごと（任期の3年目）に市議会の活動に関する市民アンケートを行っている。その結果、議会活動内容の情報発信不足であること、市民との交流や意見を伺う機会が少ないことが浮き彫りになった。議会のことを知って、関心を持っていただき、信頼される議会であるためには、分かりやすく伝えることが重要であることから、議会だよりのリニューアルを検討することとなった。
- ⑦ リニューアルの経緯 平成26年7月にリニューアル先進地のあきる野市を視察。平成27年4月の委員改選後、市役所ロビーで市民アンケートを実施。表紙のタイトルや写真選び、読んでほしい量と読める量の差を縮める、新規読者の獲得のための巻頭特集など、委員会で具体的な協議を重ね、平成28年5月号から紙面をリニューアルした。

⑧ 編集作業

(1) 特集記事（巻頭）

相手団体の選定、依頼、日程調整、会場手配、インタビュー、広報原稿作成をすべて編集委員が担当。相手団体を事前にいくつかピックアップしておき、その時々旬な団体に決めている。編集委員は2人ずつ交代で担当する。質問はあらかじめ決めて相手に伝えておき、当日のインタビューは1時間半程度で行う。

(2) 定例会概要、議会活動レポート

編集委員が内容を検討、選定し、事務局が原稿作成。

(3) 一般質問

タイトル15文字、内容500文字以内で、質問者各自で原稿作成。写真、イラストも各自で用意する。内容のチェックは担当執行部と編集委員が行う。修正があれば質問者に依頼。

(4) みんなの声

議会傍聴意見から、事務局が原稿を作成。

(5) 議会豆知識

難しい議会用語をわかりやすく解説する。編集委員会で内容を決定、委員が原稿作成。

(6) 聞かせてママの声（裏表紙）

編集委員が知り合いに依頼、インタビュー、写真撮影、原稿作成を行う。

(7) 編集後記

編集委員が交代で担当、原稿作成する。

【寄居町議会】

(1) 寄居町議会 田母神副議長あいさつ

(2) たつの市議会 肥塚議会広報調査特別委員会委員長あいさつ

(3) 寄居町議会からの調査事項の説明概要

◎市議会だより「お元気ですか 寄居議会です」の編集・発行について

① 発行回数 年4回（定例会の翌々月の1日）

② 規格 A4判 16ページ

③ 印刷色 2色刷り（表裏表紙はカラー）

④ 発行部数 1回につき13,000部

⑤ 経費 令和元年度予算で、3,968千円を計上
（単価76円）

⑥ 編集方針 「読まれない議会だよりは出す意味なし！」

多くの町民登場、予算・決算・重要案件に対する議会と町民それぞれの視点を掲載、年間の議会の流れと政策サイクルを意識した

編集、審議結果だけでなく審議経過を伝える、簡潔な表現、用語解説、写真の使い方など様々な点にこだわり、日本一クオリティの高い議会だよりを目指し編集している。

⑦ 編集作業

(1) 第1回編集会議

通常、本会議前の議会運営委員会後に開催。ページの割り振りや原稿分担、原稿依頼者を決定。

(出席者) 議長、議員(委員)、事務局、委託業者

(2) 原稿作成、写真調達、原稿レイアウト

一般質問の原稿は、質問者が、質問日から3日以内に提出。その他は、担当の委員が、議会閉会后数日後までにメール等で業者へ送付。

(3) 第2回編集会議(初校)

割り付けたゲラをもとに、文章・写真・レイアウトを確認。全文読み上げを行い、文書校正があれば、委託業者がその場で修正。

(出席者) 議員(委員)、事務局、委託業者

(4) 執行側による原稿確認、修正

(5) 第3回編集会議(2校)

初校及び執行側による修正後の校正、確認。文書・レイアウト校正があれば、委託業者がその場で修正。

(出席者) 議員(委員)、事務局、委託業者

(6) 正副委員長、事務局による最終確認を経て校了

8 視察結果及び所感について

【菊川市議会での所感】

菊川市議会では、議会だよりをリニューアルするために、市民アンケートを実施し、市民の声をもとに協議を進めていた。リニューアル内容は、標題を「菊川市議会だより」から「議会のひろば」に変更し、フルカラーで特集ページやみんなの声、議会豆知識などを新たに追加し、写真やイラストを多用して親しみやすい議会だよりとなっていた。

特集ページの相手団体の選定や依頼、日程調整、会場手配から、インタビュー、原稿作成まで全て委員が交代で担当しているとのことで、委員として大変な部分もあるが、それも親しみやすさの要因であると感じた。

また、委員会に印刷業者を招き、一緒に編集作業を行うことで、細かいところまで委員の意図が伝わるので、本市議会においても今後の参考としたい。

【寄居町議会での所感】

全国町村議会広報コンクールにおいて、2年連続で最優秀賞を取られた議会だよりということで視察を希望した。

「読まれない議会だよりは出す意味なし！」との編集方針のもと、議会だよりを議会改革の一環と位置づけ、議員個人ではなく「チーム議会」としての活動となっており、「情熱が全ての扉を押し開ける」という言葉に感動した。

編集委員が町民のもとに出向き、直接意見を聞き、本人の了解を得て多くの町民の顔写真、コメントを掲載する一方、議会の日程や集合写真、会議風景や視察写真などは町民は興味ないとして掲載しないなど、徹底的に町民目線で編集されており、その潔さに圧倒された。

本年、本市議会でも議会だよりのリニューアルを行ったが、今回、視察研修を行った両市議会とも、委員自らが編集作業に多くの時間を費やしており、本委員会での編集のあり方も検討すべきであると感じた。